

演劇と写真を学び領域横断的な表現を行うアーティスト三野新の個展

十和田市現代美術館 サテライト会場「space」展覧会

三野新 外が静かになるまで

2023 年 9 月 16 日（土） - 12 月 17 日（日）



写真：三野新 デザイン：石塚俊

十和田市現代美術館ではサテライト会場「space」にて、2023 年 9 月 16 日（土） - 12 月 17 日（日）まで三野新の個展を開催します。

演劇と写真という異なる分野を学び、舞台作家／写真家として活動してきた三野は、これまで土地や風景に眠る歴史・記憶をもとに戯曲を書き、さらにそれをパフォーマンスやインスタレーションという形で「上演」という領域横断的な表現を行ってきました。

三野は以前から日本に駐留する米軍の存在へと関心を寄せ、「沖縄」を題材とした作品も発表してきました。本展では、同じく米軍基地を擁する青森県三沢市でのリサーチから書き下ろした新作の戯曲「外が静かになるまで」を発表します。前作「クバへ／クバから」は、東京に住むアーティストがいかに「沖縄」に向き合うことができるのかという「当事者／非当事者性」という問題系を探るものでしたが、昨年度ニューヨークでの半年間の滞在を経た三野が今回取り組むのは、よりマクロな視点から「戦争の気配を感じながら生きる私たち」へと向けた作品です。ますます不安定さを増していく世界に生きる私たちにとって、三野の新作は私たちのうちに「眠る」意識へと呼びかけるものとなるでしょう。

本展は、space でのインスタレーションと、十和田のまちなかを会場にした複数のインタレーションで構成されます。一本の戯曲が複数のインスタレーションとしてまちに配され、それらを読み集めていくことで一つの作品として体験することができる実験的な展覧会となります。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【 見どころ 】

戯曲をまちへ広げる 4 つのインスタレーションとして上演

作品は、サテライト会場 space だけでなく他にもまちなかの会場 3 ヶ所（屋外、ホテル、コミュニティスペース）でビデオ・インスタレーションとして発表されます。戯曲がテキストとして流れる電光掲示板やモニター、俳優の声、風景写真、ネオン管などさまざまな要素が三野の演出により組み合わせられ、それらは全体で一本の戯曲でありながら、パートごとに順序不同で読み進めることができる作品として展開されます。鑑賞者は、一つ一つのパートを周っていくことで、舞台演劇とはひと味違う一回性の体験をすることになります。

基地を取り巻く心理を描く

戯曲の舞台はあるホテルの一室、登場するのは擬人化された「ベッド」「ソファ」「飛行機」という 3 人の人物です。「外」からの騒音をものともせず眠ることのできる「ベッド」、「外」が静かになるまで眠ることができない「ソファ」、どこかからジェットエンジン音とともにやってくる「飛行機」。夢とも現実ともつかない彼らの会話劇によって、一見平和な現代の日本に生きる私たちと、戦争への準備を絶えず続ける基地との間に存在していたかに思えた境界は徐々に曖昧になっていきます。

【 作家メッセージ 】

ホノルルにあるハワイ日本文化センターには、かつて日系移民コミュニティが建てた石柱碑がいくつか展示されている。それらには、「忠義」「我慢」「頑張り」などのいかにも日本らしい単語と共に、「仕方がない」というセリフが刻み付けられていた。その場に留まり続けねばならなかった当時の日系移民の過酷さを鮮烈に物語る言葉である。しかし、これは、同時に日本に住むわたしたちの現実を表す言葉でもあるはずだ。仕方がなさ、によって、様々なレベルで規定されている、わたしたちの生活。

本作は、そのような生活の状況を背景に制作された。ホテルの一室の中で何度も再演され続ける「仕方がなく」ここにいる家具たちと飛行機の物語。かれらが語る物語を、あなたの手によって現実の世界に差し戻すことをわたしは願う。ホテルのチェックアウトの時間は、もうとうに過ぎてしまっている現実の中で。

【 作家プロフィール 】

三野 新（みの・あらた）



撮影：細倉真弓

写真家、舞台作家。1987年福岡県生まれ。周縁化された場所やものに残る記憶や風景を繋ぎ、「ここ」と「あそこ」の中間項を見つけ前景化させることをテーマに研究と実践を行う。主に自身で撮影した写真・映像をもとにフィクションを作り、それを自己と他者の身体、様々なメディアを通して発表するなど、領域横断的に活動している。2011年早稲田大学文学部演劇映像コース卒業、2017年東京藝術大学美術研究科先端芸術表現専攻博士後期課程修了。博士（芸術）。2022年から2023年まで Asian Cultural Council の助成を受け、ニューヨークに滞在。現在は東京と神奈川を拠点に活動。近年の主な展覧会・公演に「SEAsaw: 木曽川、宇宙を航海する」(mh PROJECT ノコギリニ、愛知、2023)、「YAU TEN」(YAU STUDIO、東京、2022)、「クバヘ／クバから」(ANB Tokyo、2021)、『うまく落ちる練習』(京都芸術センター、2019) など。www.aratamino.com

【 パブリック・プログラム 】

三野新 トーク

日時：2023 年 9 月 16 日（土）14:00-15:00（受付 13:45-）

会場：十和田市現代美術館 カフェ / 料金：無料 / 定員：15 名

※上記の他にも、会期中にパブリック・プログラムを予定しています。詳細は後日発表します。

【 開催概要 】

展覧会名：三野新 外が静かになるまで

会 期：2023 年 9 月 16 日（土）- 12 月 17 日（日）

観 覧 料：無料

主 催：十和田市現代美術館

助 成：令和 5 年度 文化庁 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業

協 力：14-54、スーパーホテル十和田天然温泉

後 援：青森朝日放送、青森テレビ、青森放送、エフエム青森、デーリー東北新聞社、東奥日報社、十和田市教育委員会

企 画：外山有菜

【 会場 】

space

住所：青森県十和田市西三番町 18-20 / 開場時間：火-日 10:00 - 17:00（月曜が祝日の場合は開場し、翌火曜閉場）

十和田市現代美術館 アート広場

住所：十和田市西三番町 3 / 開場時間：火-日 10:00 - 17:00（月曜が祝日の場合は開場し、翌火曜閉場）

スーパーホテル十和田天然温泉

住所：十和田市稲生町 17-43 / 開場時間：月-日 15:00 - 23:00

14-54（コミュニティスペース）

住所：十和田市稲生町 14-54 / 開場時間：火-日 11:30 - 16:30

space

十和田市現代美術館では、美術館から徒歩約 7 分のまちなかで「space」を展示室として運営しています。アーティスト目[mé]による《space》は、一軒の空き家を大胆に展示室へと改装した作品で、2022 年 5 月まで企画展 Arts Towada 十周年記念「インター + プレイ」展の出品作品の一つとして展示していました。昨年は、美術家の大岩雄典と青柳菜摘、2023 年前半はドキュメンタリーアクターである筒 | tsu-tsu の個展を開催し、若手アーティストによる実験的な表現を紹介しています。

所在地：青森県十和田市西三番町 18-20

十和田市現代美術館

2008 年に東北初の現代美術館として開館。草間彌生、奈良美智、塩田千春、ロン・ミュエクなど世界の第一線で活躍するアーティストらの作品を常設展示しています。美術館の中だけでなく、周辺には公園のようなアート広場があり、子どもから大人まで散策しながら魅力あるアートとのふれあいを楽しむことができます。

所在地：青森県十和田市西二番町 10-9

TEL：0176-20-1127 FAX：0176-20-1138 web：www.towadaartcenter.com



目 [mé] 《space》2021 年 撮影：小山田邦哉



お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【 広報用図版 】

ご希望画像の作品番号にチェックを入れ、申込みフォームの項目をご記入の上、本用紙を FAX または E-mail にてお送りください。

FAX : 0176-20-1138 / E-mail : press@towadaartcenter.com

TEL : 0176-20-1127 / 住所 : 034-0082 青森県十和田市西二番町 10-9

十和田市現代美術館 広報 大谷 行

- [1] 
「三野新 外が静かになるまで」メインビジュアル
写真：三野新 デザイン：石塚俊
- [2] 
《ON/OFF のあいだにある渚のようなもの》
2022 年 撮影：TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH
※参考画像
- [3] 
『クバへ／クバから』上演化プロジェクト
(演出：楊いくみ、出演：石川朝日、赤松あゆ、MARU OHREI) 2022 年
※参考画像
- [4] 
写真集『クバへ／クバから』
(いぬのせなか座叢書 4、装幀・本文レイアウト：山本浩貴+h) 2021 年
※参考画像
- [5] 
撮影：細倉真弓
- [6] 
目 [mé] 《space》2021 年
撮影：小山田邦哉
- [7] 
十和田市現代美術館

媒体名

媒体ジャンル 新聞／雑誌／美術誌／テレビ／WEB／その他 ()

御社名

御担当者名

所在地 〒

電話

メールアドレス

【 画像ご使用に際して 】

- クレジットは全て明記してください。
- トリミングはご遠慮ください。
- キャプション等の文字が画像に被らないよう、レイアウトにご配慮ください。
- ご掲載の際は恐れ入りますが校正の段階で美術館までご確認ください。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com